

令和7年第1回定例会・一般質問

○日 時 令和7年3月7日（金）午前9時～

○質問者及び質問の要旨

質問 順位	質問者	質問の要旨	開始 時間
1	宮本 行雄	<p>1. 鳥取県東部保険医療圏の医療連携に係る基本協定について（智頭病院）</p> <p>(1) 昨年10月25日に、鳥取県、鳥取市、岩美町、智頭町、日本赤十字社鳥取県支部及び国立大学法人鳥取大学は、基本協定を締結されたが、最も期待することは何か。</p> <p>(2) 鳥取市立病院との関係をより強固にしてほしいと思うが、どのように考えているのか。</p> <p>(3) 鳥取大学医学部とのつながりも大切にしてほしいと思うが、どのように考えているのか。</p> <p>(4) 連携事項に、鳥取大学医学部地域医療学講座による総合診療医・総合診療専攻医の派遣、及び東部所在病院による同専攻医の育成に係る協力とあるが、具体的にはどのようなことか。</p> <p>(5) 病院の存在が町民の安心につながり、人口減少の歯止め役に役立てばと考えるが、町長の考えを問う。</p> <p>2. こども家庭センターについて（福祉課・教育課）</p> <p>子ども家庭総合支援拠点と子育て世代包括支援センターの設立の意義や機能は維持した上で、全ての妊産婦、子育て世帯、こどもへ一体的に相談支援を行う機能を有する機関の設置に努めることとすると定められた。</p> <p>(1) こども家庭センターを設置し母子保健と児童福祉分野が一体的に相談支援を行うとしているが、設置する以前とどのようなことが変わり、子どもたちには効果として何が期待できるのか。</p> <p>(2) 教育課との連携をどう進めていくのか。</p> <p>(3) サポートプランの作成にあたり、智頭町には地域資源としてどのようなものがあるのか。</p> <p>(4) 支援を要する子どもの要因は様々あると思うが、それに対応した取り組みはどのように行っていくのか。</p> <p>(5) スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーなどの関係機関や専門家などとの連携を大切にすると共に、児童・生徒・保護者から信頼される先生であってほしいと強く思うが、考えを問う。</p>	9:00

質問 順位	質問者	質問の要旨	開始 時間
2	大河原 昭洋	<p>1. 今後のまちづくりと令和7年度予算編成について (企画課・総務課)</p> <p>(1) 今後の財政運営は人口減少による実質的な地方交付税の減額のうえに、町税など一般財源の確保も困難となつてきている。このような状況下にあっても、町の最上位計画である第7次総合計画と第2期総合戦略を連動させながら、将来を見据えた今後のまちづくりについてどのような方向性を考えているのか。</p> <p>(2) 持続可能な行財政運営を進めるためにも効率的で効果的な事業執行が求められる。新年度予算にはどのような思いが込められているのか。</p> <p>2. 農地保全・農業振興について (山村再生課)</p> <p>(1) 農家数の減少により今後守るべき農地を特定する目的で「地域計画」の策定が進められている。本町の目ざす「将来の農業の姿」に向け、具体的対策をどのように講じていくのか。</p> <p>(2) 販売農家の育成や農業後継者の確保のためにも販路開拓が重要と思うが、どのように推進していこうと考えているのか。</p>	9:45
3	岡田 光弘	<p>1. 人材育成と人事評価について (総務課)</p> <p>地方創生2.0が展開される時代の中にあつて、本町のような山間地の小規模自治体においては、職員の果たすべき役割、住民からの期待、どちらも大きいと考える。今後持続可能な地域社会を目指し、住民サービスを維持・発展させていくために智頭町としてどのような取り組みを展開していくのか。</p> <p>(1) 令和4年に策定された職員管理計画についてどのような点を課題ととらえ、課題克服のためにどのように取り組んでいくのか。</p> <p>(2) 現在の本町で運用されている人事評価制度の中でどのような点を課題ととらえ、課題克服のためにどのように取り組んでいくのか。</p> <p>(3) 本町が目指す将来像を実現していくうえで必要な人材を確保していくために「人材育成基本方針」を定め、明確化していく考えはないか。</p> <p>(4) 職員同士がお互いに高め合つて、質の高い行政サービスを実現するために、新たに職場の内部での表彰制度、あるいは住民側から評価する表彰制度などが創設できないか。</p>	10:35

質問 順位	質問者	質問の要旨	開始 時間
4	波多 恵理子	<p>1. 新しい認知症観に基づく施策の推進について (福祉課・教育課)</p> <p>令和5年6月「共生社会の実現を推進するための認知症基本法」が成立し、令和6年1月に施行された。認知症になっても個人として尊重され、住み慣れた地域で自分らしく暮らし続ける「新しい認知症観」に基づいた施策の推進が求められている。</p> <p>(1) 認知症施策推進基本計画の策定について町の努力義務となっているが今後の予定を問う。</p> <p>(2) 認知症の人の意見を聴く体制の構築をどのように行うのか。</p> <p>(3) 「認知症カフェ」や「介護者家族の会」等の本人・家族を支援する取り組みの強化・推進をどのように行うのか。</p> <p>(4) 認知症サポーター活躍推進として、フレイルサポーターの方にも認知症サポーターの講習を再度受けてもらい活躍の場をつくり広めてはどうか。</p> <p>(5) 認知症サポーター養成講座の拡充として企業、商店街、一般町民などに広く呼び掛けてはどうか。</p> <p>(6) 認知症サポーター養成講座を小学校、中学校の人権教育の場などに取り入れてはどうか。</p> <p>(7) 地域全体で、認知症の方とその家族を見守り、支えていくためのネットワークづくりの第一歩として町民一人一人が認知症に対する理解を深めることが大切と考えるが具体的な取り組みを問う。</p>	11:15
5	谷口 翔馬	<p>1. 人口減少対策について (総務課・企画課・地域整備課・教育課)</p> <p>(1) 本町の定住促進住宅として、予定していた10棟が今年度完成する中で、ゆめが丘の今後の展望をどのように考えているのか。</p> <p>(2) ゆめが丘の通学利便性向上のためにもスクールバスの路線変更も必要と思うが考えを問う。</p> <p>(3) 町有地や公有地の若者定住に向けた活用策を問う。</p> <p>2. 広報戦略について (企画課)</p> <p>(1) 町民、町外の方に本町を知っていただくことで、多大なる様々な効果が見込めると考える。広報戦略についてどのような施策を講じていくのか町長の所見を問う。</p>	13:00

質問 順位	質問者	質問の要旨	開始 時間
6	仲井 莖	<p>1. 性被害から子どもたちを守るための対策について (福祉課・教育課)</p> <p>(1) 子どもを性犯罪から守るための日本版DBSの創設に向けて、本町で行われている対策を問う。</p> <p>(2) 性犯罪・性暴力から子どもを守ることを目的としている「生命(いのち)の安全教育」の取組みの現状を問う。</p> <p>2. 智頭町の男女共同参画の取組みについて(総務課)</p> <p>(1) 本町における女性参画の現状、委員会等・審議会・本町職員の管理職への登用状況を問う。</p> <p>(2) 第5次男女共同参画プラン策定の進捗状況を問う。</p>	13:45

※開始時間は、議事進行状況により変動する場合があります。

※傍聴を希望される方は、議会事務局で所定の用紙に必要事項をご記入ください。